

「広告企画」ミマキエンジニアリングのデジタルコーティングマシン「DCF-605PU」が生む新しい付加価値とは

# アクリルには両面UVプリント+デジタルコーティングが常識になる



商品化された「NyanCo. (ニャン公)」のアクリルキーホルダーは2Dイラスト(左)と3DCG(右)の2デザイン。表面にデジタルコーティングが施されている。サイズは縦が約44mm、横が約20mmで、「子供が手にした時に、これくらいのサイズが丁度いい。そこにこだわりました」と匹田社長。

**ア** クリルキーホルダーはアニメやコミック作品など、人気コンテンツが数多く商品化されているヒットアイテム。イラストを美しい質感で立体化でき、価格が手頃で購入しやすいのが理由だろう。その人気商品が、(株)ミマキエンジニアリングのデジタルコーティングマシン「DCF-605PU」によって、次の段階に進化しようとしている。

この機械はUVプリントしたアクリルの上に高い耐久性を持つ極薄の被膜を、オンデマンドで塗布できる。つまりアクリルキーホルダーに「DCF-605PU」を使えば、傷に強く、色が褪せにくく、アルコール等で拭いた際にアクリルのクラックを防止してくれるなど、トラブルの心配がない商品を作ることができるのだ。

この次世代型とも言えるアクリルキーホルダーを採用したのが、

昭和45年創業の広告制作会社、(株)レバーン(本社・東京都港区)。グラフィックを中心に幅広い広告制作をおこなうプロ集団だ。

同社の匹田絵人社長は、

「デジタルコーティングされたアクリルキーホルダーを初めて見た時、高いクオリティに驚きました。これなら商品化してもいい、とデザイナー達からも声が上がった」。

**通常のアクリルだと鍵でプリント面に傷がつく**

同社は約10年前からキャラクターライセンス事業を展開。これまでに様々なキャラクターのビッグクッションやクリアファイルなどのグッズを世に出してきた。しかしアクリルキーホルダーを作ったのは一度だけ。

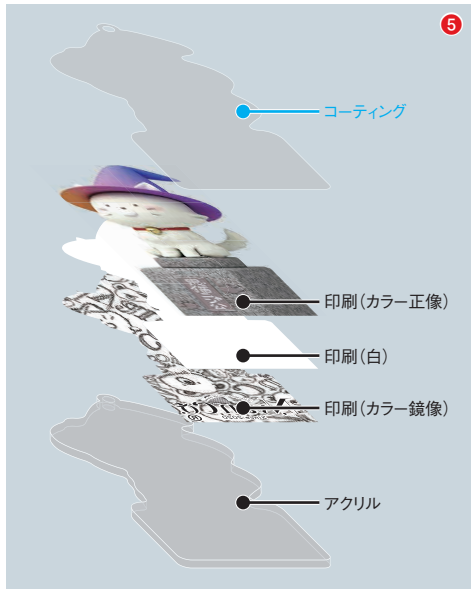
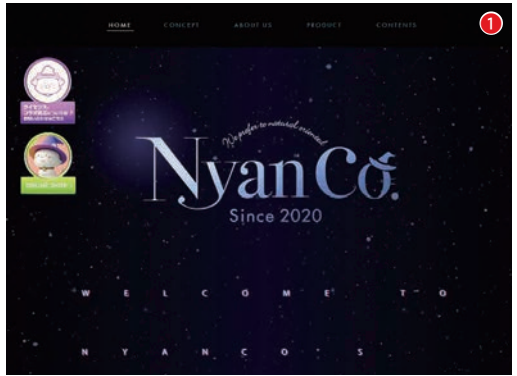
「展示会などで並べるためにサンプルとして、自分たちで探した工場に小ロット注文したことがあり



アクリルキーホルダーを製造した(株)マイム・コーポレーション。写真左が宇都宮センター、写真右は宇都宮センターに設置された「DCF-605PU」。問い合わせは下記まで。  
〒111-0041 東京都台東区元浅草3-18-10 上野NSビル6F  
TEL:03-6231-7731 FAX:03-6231-7747 URL: <http://www.mime-corp.jp/>

ます。仕上がりは悪くありませんでしたが、UVプリントした箇所がザラザラして、のっぺりとしていた。キーホルダーに鍵をつけていると、UVプリントした箇所に当たって傷や欠けが発生すること

①「NyanCo.(ニャン公)」の公式サイト(<https://www.shibuya-nyanco.com/>)。今回作られたアクリルキーホルダーは「NyanCo.(ニャン公)」のオンラインショップ(<https://nyanco.shop/>)から購入できる。なお、「NyanCo.(ニャン公)」のグッズは売上の12%が猫の殺処分を減らすために使われている。②これまでに発売された「NyanCo.(ニャン公)」のコラボグッズ。③「NyanCo.(ニャン公)」のアクリルスタンドを手にする匹田社長。



写真右はステンレスへのコーティング有り、無しと比較画像。コーティング無しはマットな仕上がり、有りは光沢感が出ている。④「NyanCo.(ニャン公)」アクリルキーホルダーのアップ写真。コーティングによって、表面に艶が出ていることがよくわかる。⑤は今回製作した「NyanCo.(ニャン公)」アクリルキーホルダーのプリント層モデル。



「NyanCo.(ニャン公)」は、(株)レバーンと人気ファッションインストアグラマーのD氏によって、2020年に生み出されたキャラクター。誕生以来、様々なメーカーからチョコやスニーカー、アクセサリーなどのコラボ商品が発売されている。今回の「NyanCo.(ニャン公)」アクリルキーホルダーは、(株)

レバーンが運営するECサイトで販売される同社のオリジナルグッズとして展開される。アクリルキーホルダーの製作を担当したのは、これまで多数のアクリルグッズ製造を手掛けてきた(株)マイム・コーポレーション(本社:東京都台東区・岡田政夫社長)。(株)マキエンジニアリングのUVプリンターとデジタルコーティングマシン「DCF-605PU」を組み合わせることで、2デザインのアクリルキーホルダーを作り上げた。

完成品を見た匹田社長は、「素晴らしいの一言。コーティングした面はクリアな質感で、表面と裏面のデザインが互いの面から透けて見えないのもいい」。

また、「コーティングで保護された両面をデザインできるのは、表現の幅が広がるため、大きなメリットです。デザイナーからすると、A面、B面という考え方で、キャラクターの隠された一面を表現できる。それだけでアイデアが浮かんでいきます。また、色が褪せない点もデザイナーから見れば重要なポイント。これからのアクリルキーホルダーは、両面UVプリン



### Mimaki ALPHA Spray-Jetting DCF-605PU

標準価格: 3,730,000円(税別) / 4,103,000円(税込)  
 寸法: 1,170×1,050×1,180mm (テーブル面高さ: 770mm)  
 重量: 104kg  
 塗布範囲: 520×450mm  
 素材厚さ/重量: 40mm/最大10kg(点荷重不可)  
 最大速度: XY軸: 300mm/sec  
 塗布膜厚: 10μm/20μm/30μm/40μm/100μm/150μm ±20%

「両面UVプリントによって隠された一面を表現」

「アクリルへの両面UVプリント+デジタルコーティングは、アクリルキーホルダーの付加価値を上げるだけでなく、新しいトレンドをも作り出そうとしている。」

「アクリルへの両面UVプリント+デジタルコーティングは、アクリルキーホルダーの付加価値を上げるだけでなく、新しいトレンドをも作り出そうとしている。」

「アクリルへの両面UVプリント+デジタルコーティングは、アクリルキーホルダーの付加価値を上げるだけでなく、新しいトレンドをも作り出そうとしている。」

Mimaki <https://japan.mimaki.com/>

【問い合わせ先】(株)マキエンジニアリング

【本社】〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182番地3 ☎0268-64-2281(代) FAX0268-64-2285